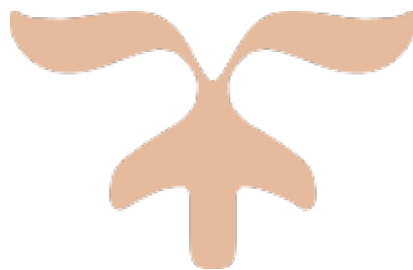


令和6年度**前期** 高大連携授業
授業計画書

科目概要



大学コンソーシアムあきた

目 次

〔1〕 英語の楽しさ再発見(秋田大学).....	1
〔2〕 体験活動を通して学ぼう！算数・数学(秋田大学)	2
〔3〕 地域資源と地域活性化(秋田大学)	3
〔4〕 ジャンヌ・ダルクの戦闘と平和(秋田大学).....	4
〔5〕 国際系人文科学入門(秋田大学).....	5
〔6〕 「私」のストーリー(秋田大学).....	6
〔7〕 身近な有機化学・有機化合物(秋田大学).....	7
〔8〕 遺伝子の生物学(秋田大学)	8
〔9〕 高校生のための応用化学(秋田大学)	9
〔10〕 情報データ科学の世界 I(秋田大学).....	10
〔11〕 知れば知るほど面白い「応用物理の魅力」(秋田大学).....	11
〔12〕 再生可能エネルギー入門(秋田大学)	12
〔13〕 数学の謎と魅力(秋田大学)	13
〔14〕 高校生のための地球環境学(秋田大学)	14
〔15〕 機能性材料のデバイス応用と評価(秋田大学).....	15
〔16〕 マーケティングとブランディング(秋田大学).....	16
〔17〕 ネットワーク技術とセキュリティ(秋田大学).....	17
〔18〕 高校数学から大学への数学へ(秋田県立大学 本荘キャンパス)	18
〔19〕 リスクで分かる判断と違いの心理(秋田県立大学 本荘キャンパス).....	19
〔20〕 3Dモデリングと3Dプリンタを学ぼう(秋田県立大学 本荘キャンパス).....	20
〔21〕 ドローンを作って飛ばそう(秋田県立大学 本荘キャンパス)	21

[22]	データサイエンスによるマーケティング(秋田県立大学 本荘キャンパス)	22
[23]	ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅(秋田県立大学 本荘キャンパス)	23
[24]	プログラミング言語 Python (初級) (秋田県立大学 本荘キャンパス)	24
[25]	プログラミング言語 Python (中級) (秋田県立大学 本荘キャンパス)	25
[26]	コンピュータ, 役に立ちます(秋田県立大学 本荘キャンパス)	26
[27]	植物を科学して役立つ!(秋田県立大学 秋田キャンパス)	27
[28]	生物環境科学への招待(秋田県立大学 秋田キャンパス)	28
[29]	高校生のためのアグリビジネス学入門(秋田県立大学 秋田キャンパス)	29
[30]	基礎心理学を体験しよう(秋田県立大学 秋田キャンパス)	30
[31]	バイオテクノロジーへの招待(秋田県立大学 秋田キャンパス)	31
[32]	おもしろ生物学 ここだけのはなし(秋田県立大学 秋田キャンパス)	32
[33]	国際教養学への招待(国際教養大学)	33
[34]	糸と布について(秋田公立美術大学)	34
[35]	美大の大石膏像:ギリシャ神話の神々を木炭で描こう!!(秋田公立美術大学)	35
[36]	グラフィックレコーディング演習(秋田公立美術大学)	36
[37]	地域資源デザインワークショップ(秋田公立美術大学)	37
[38]	ものづくりって何?(秋田公立美術大学)	38
[39]	建築デザインを学び、実際に見て歩こう(秋田公立美術大学)	39
[40]	光の魔法!こんなにちがう!写真の撮り方(秋田公立美術大学)	40

〔41〕 日商簿記3級に合格しよう。(ノースアジア大学)	41
〔42〕 世界史と法学(ノースアジア大学)	42
〔43〕 情報と刑法(ノースアジア大学)	43
〔44〕 日常生活に活かせる心理学(ノースアジア大学)	44
〔45〕 ジブリアニメの字幕翻訳と異文化理解(ノースアジア大学)	45
〔46〕 高校生のための看護学入門(日本赤十字秋田看護大学)	46
〔47〕 食生活と健康(秋田栄養短期大学)	47
〔48〕 ようこそ保育の道へ(聖霊女子短期大学)	48
〔49〕 食品と栄養の基礎知識(聖霊女子短期大学)	49
〔50〕 人間関係形成のためのコミュニケーション入門(日本赤十字秋田短期大学)	50
〔51〕 楽しく学べる保育科入門(聖園学園短期大学)	51
〔52〕 レーザー加工機を用いたアクリル板加工(秋田職業能力開発短期大学校)	52
〔53〕 IoTデバイスプログラミング(秋田職業能力開発短期大学校)	53
〔54〕 建築空間を模型で探る(秋田職業能力開発短期大学校)	54

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (学外別)	[1] 英語の楽しさ再発見 (英語を様々な角度から研究する)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 准教授 若有 保彦 (計5名)
授業概要	大学の英語学習では、英語力を伸ばすだけでなく、英語を様々な角度から研究します。本講座では、英語という言語の仕組みや英語の文化的背景、英語学習の効果的な方法を秋田大学の英語担当教員と一緒に考えていきます。		
授業方針	担当者の話を聞くだけでなく、視聴覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともあります。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でなくてもかまいません。英語が苦手という人にとっても、新しい視点から英語を見直す機会になると期待します。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 24名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「第二言語習得—英語学習へのヒント」 教授 佐々木 雅子 <u><6月5日(水)17:30~19:00></u> 母語でない外国語習得(第二言語習得)はどのようにして起こるのか、どのようにしたら習得や学習がよりよく進むのか。現在までにわかっていることを紹介します。英語学習のヒントにしてください。			
第2講: 「英語研究と英語学習」 教授 星 宏人 <u><6月12日(水)17:30~19:00></u> 受講生の英語学習のために、英語学、言語学、言語哲学の研究成果を紹介する。			
第3講: 「英語発達史」 准教授 エイドリアン・パターソン <u><6月19日(水)17:30~19:00></u> This class is about where English came from, how it spread to so many parts of the world, and how it changed along the way. By studying the history of English, you can get a better cultural understanding of English speaking peoples, and why there are so many different kinds of English now.			
第4講: 「知っておきたいアメリカ文学・文化入門」 講師 畠山 研 <u><6月26日(水)17:30~19:00></u> 英語がもっと楽しくなるアメリカ文学とアメリカ文化についてさまざまな内容を紹介します。			
第5講: 「英語学習の目的と効果的な英語学習法」 准教授 若有 保彦 <u><7月3日(水)17:30~19:00></u> 英語学習の目的及び効果的な英語学習法について、他校の生徒との話し合いも交えながら一緒に考えていきます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[2] 体験活動を通して学ぼう！算数・数学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 講師 加藤 慎一 (計1名)
授業概要	ノートの上で問題を解決することだけが算数・数学を学ぶことではありません。身体などを使った体験活動を通して算数・数学を学ぶたのしさを実感しながら、「算数・数学を学ぶ」とは何かについて考えてみましょう。		
授業方針	高校生のみなさんが主体的に考えることを大切にします。スライドや黒板を使い、体験的な活動を取り入れながら授業を進めていきます。必要に応じて、資料を配布します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：12名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「体験活動を通して学ぼう！算数・数学①図形編」			
＜6月20日(木)17:30～19:00＞ 身体などを使った体験活動を通して図形を学ぶたのしさを実感しながら、「図形を学ぶ」とは何かについて考えます。			
第2講：「体験活動を通して学ぼう！算数・数学②関数編」			
＜6月27日(木)17:30～19:00＞ 身体などを使った体験活動を通して関数を学ぶたのしさを実感しながら、「関数を学ぶ」とは何かについて考えます。			
第3講：「体験活動を通して学ぼう！算数・数学③統計編」			
＜7月4日(木)17:30～19:00＞ 身体などを使った体験活動を通して統計を学ぶたのしさを実感しながら、「統計を学ぶ」とは何かについて考えます。			
その他	特になし		
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[3] 地域資源と地域活性化	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 教授 臼木 智昭 (計1名)
授業概要	観光、文化、歴史、自然、特産品等の「地域資源」を活用した地域活性化の可能性について解説します。具体的な事例を交えながらお話しします。		
授業方針	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。地域活性化に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：100名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「地域資源と地域イメージ」 <6月22日(土)11:10~12:40> 地域イメージやマーケティング手法の活用による地域活性化について解説します。</p> <p>第2講：「地域資源と地域ブランド」 <6月22日(土)13:20~14:50> 地域ブランドや地域の個性を活かした地域活性化について解説します。</p> <p>第3講：「地域資源と地域ネットワーク」 <6月22日(土)15:00~16:30> ネットワークの活用や地域一体となった取り組みによる地域活性化について解説します。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	公民、公共、政治・経済		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[4] ジャンヌ・ダルクの戦闘と平和 (世界史熟考)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計1名)
授業概要	高校世界史の中で、「中世ヨーロッパ」はイスラームの拡大と中国の宋・元時代に挟まれるとともに、様々な民族や事件が登場する難解な単元です。その最大の事件である〔百年戦争とバラ戦争〕の項目から、ジャンヌ・ダルクについて深く考えてみましょう。		
授業方針	教科書に登場する事件や人物についてじっくり考えることが目標です。そのために、授業では、中世の時代に残された記録や画像を一緒に読み解きながら進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 50名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「神の声~中世ヨーロッパ社会と預言~」 <u><6月15日(土)9:30~11:00></u> ジャンヌ・ダルクは処刑裁判の時、幼い頃に「神の声」を聞いたと証言しています。ジャンヌに関する最大の謎です。彼女の預言者、すなわち神からの使者として自意識について考察します。</p> <p>第2講: 「戦闘~オルレアンの攻囲戦~」 <u><6月15日(土)11:10~12:40></u> ジャンヌ・ダルクといえば、英仏百年戦争の中、英軍に包囲されていたオルレアンの町を解放した姿がよく知られていると思います。その攻防における彼女の行動や発言を明らかにしたいと思います。</p> <p>第3講: 「平和~戦いの果てに描いた世界~」 <u><6月15日(土)13:20~14:50></u> ジャンヌ・ダルクは闘いばかりを望んだわけではありませんでした。キリスト教徒として、可能な限り殺戮や流血を避けようとしていました。彼女の中の戦闘と平和の関係を分析します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[5] 国際系人文科学入門 (フランスを中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 辻野 稔哉 (計1名)
授業概要	本授業では、簡単なフランス語会話に触れることから始め、フランスを主な例として、人文科学の学びについて解説します。大学の授業の雰囲気を味わいながら、小説や映画、絵画といった広い人文科学の世界に最初の一步を踏み出しましょう。		
授業方針	毎回、プリントや資料を配付して授業を進めていきます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「フランス語に触れてみよう！」 <6月12日(水)17:30~19:00> 難しいことは後回し。とにかくフランス語を聞いて、まねて、喋ってみよう! 英語と似ているようで、英語とはやっぱり違うフランス語に触れてみよう。</p> <p>第2講: 「人文科学は面白い！」 <6月19日(水)17:30~19:00> 大学ではどんなことが学べるのか、実際に聴講してみましよう。この講義では、小説や映画などを題材に、国際文化系人文科学の学びを解説します。</p> <p>第3講: 「様々なフランスの文化について」 <6月26日(水)17:30~19:00> 知っているようで、良く知らない国フランス。おしゃれなだけじゃないフランス文化のことをもっと知ろう。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[6] 「私」のストーリー	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 パシユカ・ロマン (計1名)
授業概要	人はみんな、必ずストーリーがあります。この授業では、自分自身のストーリーを考える・描く・共有することによって、私とは何か、他者とは何か、そして社会の中で生きることはどういうことか等について一緒に考えます。		
授業方針	教員からの一方的な講義ではなく、個人ワークやグループワークをたくさん取り入れた、ワークショップに近い授業です。スライド等は使いませんが、毎回必ず筆記用具を持参してください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「「私」って、だれ？」 <u><7月3日(水)17:30~19:00></u> 自分の人生マップを考える・描いてみる・シェアする活動を通して、哲学の観点から「自己」について考えます。</p> <p>第2講: 「「あなた」って、だれ？」 <u><7月10日(水)17:30~19:00></u> レター・ライティングという活動を通して、ライフストーリー研究の観点から「他者」について考えます。</p> <p>第3講: 「「私たち」って、だれ？」 <u><7月17日(水)17:30~19:00></u> 第1回・第2回の議論を踏まえて、社会のあり方について考えます。最後に、「私」のストーリーをまとめます。</p>			
その他	筆記用具		
テキスト	なし		
参考文献	適宜、授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[7] 身近な有機化学・有機化合物	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 生命科学科 教授 藤原 憲秀 (計1名)
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私達の生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かり易く解説します。		
授業方針	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 (理工学部6号館) 2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急時連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: fjwkn@gipc.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「有機化合物のかたち」 <u><6月9日(日)10:30~12:00></u> 身近な有機化合物の「分子のかたち」に関わる話題を説明します。</p> <p>第2講：「スパイスの色と香りと刺激の有機化合物」 <u><6月9日(日)12:50~14:20></u> スパイスやハーブに含まれる有機化合物を紹介します。簡単な演示実験もあります。</p> <p>第3講：「色調の変化する人工色素の有機化学」 <u><6月9日(日)14:30~16:00></u> 機能を持った人工色素について紹介します。簡単な演示実験もあります。</p> <p>第4講：「健康と天然有機化合物」 <u><6月16日(日)12:50~14:20></u> ヒトの健康に関わる天然由来の有機化合物の話題を紹介します。</p> <p>第5講：「自然毒の有機化学」 <u><6月16日(日)14:30~16:00></u> ヒトの健康に関わることの続きですが、食中毒に関わる毒素の話題を紹介します。</p>			
その他			
テキスト	講義の各回資料を配布します。		
参考文献	配布資料に掲載します。		
関連科目	化学基礎・化学 家庭 (食品)		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[8] 遺伝子の生物学 (最新の遺伝子組み換え技術への道)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 生命科学科 助教 本田 晴香 (計1名)
授業概要	近年、遺伝子組換え技術が著しい発展を遂げています。この分野は日進月歩で、高校生物の内容と大きな隔たりがあります。この溝を埋められるよう平易な内容から、最先端の分子生物学の基礎まで解説します。		
授業方針	パワーポイントとプリントを併用して説明をします。順を追って授業の内容が進みますので、最初の授業から連続して出席することをお勧めします。生物基礎や化学基礎を履修済みでなくても理解できるよう解説します。第4講では、簡単な実験を予定しています。		
会場・教室	第1講～第3講：秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）1階多目的講義室 第4講：秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）3階学生実験室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-2843（大学コンソーシアムあきた事務局） E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「遺伝子とは」 ＜6月8日（土）9：30～11：00＞ DNA、RNAの種類と役割を説明します。また、DNAにコードされている遺伝子の構造と働きについても詳しく解説します。			
第2講：「遺伝子組換えの理論と実際」 ＜6月15日（土）9：30～11：00＞ 遺伝子組換えの歴史に触れつつ、プラスミド（環状DNA）の基本構造や、それらを動物細胞への遺伝子導入方法について解説します。			
第3講：「遺伝子組換え技術の産業・医療への応用」 ＜6月22日（土）9：30～11：00＞ 最新の遺伝子編集技術を含め、遺伝子組換え技術の産業への応用について、概要を説明します。			
第4講：「細胞の染色・DNAの抽出実験」 ＜6月29日（土）9：30～11：00＞ 最終講義では、講義のまとめとして細胞の染色・DNA抽出実験を行います。この実験を通して、細胞がDNAを持っていることを確認します。			
その他	筆記用具のみでOKです。実験に必要な保護メガネや手袋はこちらで準備します。		
テキスト	講義内容をまとめた資料（A4サイズ資料）を毎回配付します。		
参考文献	配布資料に示すとともに、授業の中で紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[9] 高校生のための応用化学 (化学と社会の接点を知ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 物質科学科 教授 村上 賢治 (計5名)
授業概要	応用化学は、化学の知識や研究成果を新しい物質や技術の開発に利用する学問であり、人間社会を豊かにする重要な役割を担っています。応用化学が社会のどのような場面で活躍しているのかを、先端的な研究例も取り上げて楽しく学びます。		
授業方針	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思えます。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部4号館229講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：40名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「クリーンエネルギー」 教授 村上 賢治

＜7月13日(土)13:20～14:50＞

2050年にカーボンニュートラルを実現するためには、燃料の有するエネルギーを化学の力で上手く取り出す必要があることを解説します。

第2講：「身の回りで活躍する有機材料」 教授 寺境 光俊

＜7月13日(土)15:00～16:30＞

我々の日常生活では様々な有機材料が使われています。これら有機材料の特徴や機能について、分子レベルから解説します。

第3講：「化学の眼で見る液体燃料と環境側面 ～二酸化炭素とSDGs～」

准教授 小笠原 正剛

＜7月14日(日)9:30～11:00＞

秋田で産出される「石油」を起点として、液体燃料について概説します。また、炭素循環と二酸化炭素、SDGsとの関連を紹介します。

第4講：「ビーカーや試験管の中の化学反応はどのようにして実用化されるのか？」

准教授 高橋 博

＜7月14日(日)11:10～12:40＞

化学反応を利用して物質を生産する場合、どのようにして実用化されていくのでしょうか。高校の教科書には記載が少ない、化学の裾野の広さを知る良い機会となるでしょう

第5講：「環境浄化に役立つ無機材料」 教授 加藤 純雄

＜7月14日(日)13:20～14:50＞

社会を豊かにする技術の発展とともに問題となる、大気や水の汚染を防止し、浄化に役立つ無機物質、技術を化学の視点から解説します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブ名)	[10] 情報データ科学の世界I (デジタル化する私たちの生活)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 景山 陽一 (計4名)
授業概要	人を中心とするデジタル社会を創るためには、人や技術に対する深い理解が必要です。AIやXRなどの最新技術について紹介すると共に、私たちの暮らしをより良くするためのアイデアと手段を一緒に考えたいと思います。		
授業方針	スライドと配布プリントにより講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部5号館101講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 50名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「AIの利活用とこれからのデジタル社会」 教授 景山 陽一

<7月13日(土)9:30~11:00>

AIなどのデジタル技術の利活用が急速に進んでいます。デジタル社会の中で、私たちは質の高いつながりを創り出すことが重要です。本講座では、AIの歴史や利活用の現状、デジタル社会を構築するためのこれからの取り組みについて紹介します。

第2講: 「デジタルイノベーションによる持続可能な地域観光と生涯学習」 教授 有川 正俊

<7月13日(土)11:10~12:40>

本授業では、位置情報サービス、AIを活用したデジタルガイド、ストーリーテリング、ゲーミフィケーション、デジタル地誌学、データ主導型エコシステム、地域社会への貢献を通じたシビックプライドの醸成など、多角的な視点から、技術が如何に地域社会の課題解決に貢献できるかを探求します。理論から実践まで、学生の皆さんと一緒に、地域観光と生涯学習の未来を再定義しましょう。

第3講: 「XR: ヒトの空間知覚と没入型技術」 教授 水戸部 一孝

<7月13日(土)13:20~14:50>

XRはデジタルで「異世界」を体験できる技術です。何故ヒトは、HMDを装着するとその世界に存在している様に感じるのでしょうか?本講座では、脳科学に基づくヒトの空間知覚の仕組みを学びながら、立体視の基礎から生成AIを活用した最新のXRまで没入型技術の歴史、そして秋田大学でのXR研究事例について紹介します。

第4講: 「目は口ほどにものを言うー視線の測り方と応用ー」 教授 石沢 千佳子

<7月13日(土)15:00~16:30>

視線計測器を用いると、「人が何処を見ているのか」を知ることができます。視線計測はこれまで、心理学の実験や、マーケティング、視線によるコンピュータ操作など、ある特定の目的で決まった使い方をするのが殆どでした。本講座では、視線計測の原理を紹介し、私たちの暮らしをより便利にするための活用方法について、みなさんと一緒に考えます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔11〕 知れば知るほど面白い「応用物理の魅力」 (私たちの日常を支えている未来の技術にも触れよう！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 河村 希典 (計3名)
授業概要	物理の魅力は、私たちの生活をより便利で快適なものにするため、その考え方や法則が関係しています。講義では、超音波、電磁波、光波について説明し、身の回りの電子製品、医療機器について解説します。		
授業方針	応用物理の不思議や面白さに気づき、応用物理の基礎知識を身につけ、応用物理の学習に興味を持ってもらうことができるような授業を展開します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館D130講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「超音波の性質と超音波診断装置のしくみ」 講師 福田 誠			
<p><7月13日(土)9:30~11:00></p> <p>超音波は聞こえないため気が付きにくいですが、身の回りで広く使われています。本講義では、超音波の性質とその送受波の仕組みや、その応用例として医療診断装置などについて紹介します。</p>			
第2講: 「電磁波って何?~電磁波の基礎とその利用について~」 講師 淀川 信一			
<p><7月13日(土)11:10~12:40></p> <p>皆さんが日頃何気なく利用している電磁波はマクスウェルの方程式で表現できますが、実はその式で電磁気現象の全てを表すことができます。その方程式を易しく解説し、また電磁波の利用例と今後の発展について紹介します。</p>			
第3講: 「光の不思議に迫る! 未来の光技術」 教授 河村 希典			
<p><7月20日(土)9:30~11:00></p> <p>光は『波』の性質をもっており、目に見える「可視光」だけでなく、目に見えない「紫外線」や「赤外線」も同じ仲間です。光の正体について実演を交えて紹介し、光応用のウェアラブル製品と未来の光技術を紹介します。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配布します		
参考文献	講義の中で紹介します		
関連科目	物理		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[12] 再生可能エネルギー入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 熊谷 誠治 (計1名)
授業概要	エネルギーと環境に関する社会情勢と技術は、刻々と変化しています。本授業では、再生可能エネルギーに関する基礎知識を身に付けます。さらに、世界的動向から地元秋田での取り組みまで、最新情報を提供します。		
授業方針	パワーポイントとプリントを用いて授業を進めます。物理と化学の履修は必須ではありません。再生可能エネルギーに興味があれば十分に理解できる内容です。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館D130教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 25名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「日本と世界のエネルギー情勢と再生可能エネルギーとは」			
<p><8月10日(土)13:00~14:30></p> <p>日本および世界のエネルギー情勢, 再生可能エネルギーの種類や特徴について学びます。さらに, 個別の再生可能エネルギーの原理や特性について学びます。洋上風力発電や秋田に豊富に存在する地熱について説明します。</p>			
第2講: 「蓄電技術, バイオマスの利用とカーボンニュートラル」			
<p><8月10日(土)14:40~16:10></p> <p>再生可能エネルギーの有効利用と助けるリチウムイオン電池などの蓄電技術を説明します。また, バイオマスとその特徴であるカーボンニュートラルについて学びます。秋田での取り組みについても紹介します。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配信します。		
参考文献			
関連科目	物理, 物理基礎, 化学, 化学基礎		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[13] 数学の謎と魅力	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 山村 明弘 (計4名)
授業概要	数理科学はデータサイエンスや AIなどの科学技術の基礎となっている一方でまだ解明されていない難問もたくさん残されています。数学の謎と我々の生活に密着している事例を紹介して数学の魅力に迫ります。		
授業方針	パワーポイントのスライドを用いた授業に加えて実験や実習を通して数学が我々の生活に役立っていることを感じる事ができる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 (理工学部6号館) 2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「スケッチからなぜ立体が復元できるのか」 准教授 小林 真人			
<p><7月20日(土)13:20~14:50></p> <p>リンゴやドーナツなどを曲線を使ってスケッチしたとき、なぜその絵が立体視できるのでしょうか。2次関数や3次関数のグラフと接線を鍵に、実験を交えて素朴に考えます。また、実社会での応用と高次元の形に挑む試みにも触れます。</p>			
第2講: 「物理と数理の交差点」 助教 (システムデザイン学科) 佐々木 英一			
<p><7月20日(土)15:10~16:40></p> <p>高校で習う微積分は自然の原理を理解するうえで不可欠です。雨雲の伝搬や人口問題といった身の回りの現象は、物理や数理の洞察からモデルを作ること、その本質を明らかにし、予測や計画に役立てることが出来ます。実際にモデルを組み立て現象を理解するプロセスを体験しましょう。</p>			
第3講: 「結び目の世界」 助教 橋爪 恵			
<p><7月21日(日)13:20~14:50></p> <p>数学の幾何の分野の中にトポロジーと呼ばれる分野があるが、今回はそのトポロジーの中から結び目という概念を紹介する。結び目とその変形に慣れるために、実際に結び目を作ってみたり、絵を描いてみたりする。</p>			
第4講: 「フィボナッチ数列と漸化式」 教授 山村 明弘			
<p><7月21日(日)15:10~16:40></p> <p>一般に花びらの数は3、5、8、13、21、34、55枚になっていることが多いようです。これらの数はフィボナッチ数と呼ばれる数で、パルテノン神殿の縦・横の比や名刺のサイズとなっている黄金比と関連しています。高校で学ぶ漸化式を使ってフィボナッチ数列の秘密を探ります。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[14] 高校生のための地球環境学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 准教授 菅原 透 (計4名)
授業概要	いま私たちの生活は地球環境問題への対応やSDGsが大きな行動目標となっています、そもそも「地球」とは何なのか? 「自然」とはどのようなものなのか? この講義ではそれらについてわかりやすく解説します。		
授業方針	パワーポイントと配布資料を併用して説明します。簡単な実験も行います。高校で地学を履修していなくても理解できる内容とする予定です。		
会場・教室	第1講、第2講、第4講：秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館 共通-224講義室 第3講：秋田大学 手形キャンパス 附属鉱業博物館 3階講堂		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話：018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講：「地球の構造と歴史」 准教授 菅原 透 <7月13日(土)9:30~11:00> 太陽系の中で地球はどのように出来たのか、地球の中はどうなっているのか、そして気候変動などの地球表層で生じてきた変化について学びます。			
第2講：「ダイナミックな地球内部」 助教 中尾 篤史 <7月13日(土)11:10~12:40> 地球内部の対流を模した室内実験を行うとともに、プレートテクトニクスとそれに関する諸現象(地震・火山など)について解説します。			
第3講：「日本列島の成り立ちと秋田の地質・岩石」 准教授 福山 繭子 <7月21日(日)13:20~14:50> 鉱業博物館の展示を通じて、日本列島の成り立ちや秋田の地質・岩石の特徴、そして、その調べ方について紹介します。			
第4講：「秋田県から産する火山由来の非金属資源(珪藻土、パーライト、ゼオライト)」 講師 村上 英樹 <7月21日(日)15:00~16:30> 秋田県の代表的地下資源である珪藻土等について解説し、それらがどのように利用されているのかを紹介いたします。また、珪藻土については、各種植物に対する成長促進効果を利用した農作物増産方法や環境浄化技術も紹介いたします。			
その他	筆記用具をご持参ください		
テキスト	必要に応じてプリント教材を配布します。		
参考文献	適宜、授業の中で紹介します。		
関連科目	地学基礎, 物理基礎, 化学基礎		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[15] 機能性材料のデバイス応用と評価 (電子機器の性能を向上させる新材料、 新材料の開発につながる構造解析)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 附属革新材料研究センター 教授・センター長 吉村 哲 (計2名)
授業概要	世の中を便利にしている電子デバイスは、種々の機能的な材料と物理法則とを用いて動作していること、その材料特性の理解と改善には、ナノメートルスケールでの構造評価が重要であること、を紹介する。		
授業方針	簡単な実験や立体的な画像を見せながら進める講義を通じて、先端材料や物理法則がどのように電子デバイスに応用されているか、先端材料の特性を決めている構造はどのようにして評価されているか、を体感してもらいながら授業を進める。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部 3号館 319講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jim.u.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「物理法則と機能性材料は情報記録機器の性能を支配する！」

教授 (理工学研究科 革新材料研究センター長 兼 物質科学専攻) 吉村 哲

<7月13日(土)9:30~11:00>

『電気と磁気』に関する物理法則と主要な電子デバイスの1つである情報記録機器の動作原理との関係性について簡単な実験を行いながら概説するとともに、近年の新しい物理法則の発見と機能性材料の創製およびその特性改善が情報記録機器の高性能化に寄与してきた歴史と将来展望について述べる。

第2講：「機能性材料の原子配列を調べてみよう！」

准教授 (理工学研究科 物質科学専攻) 肖 英紀

<7月13日(土)11:10~12:40>

現代社会を支える高性能な電子機器・デバイスには多種多様・高機能な物質・材料が使用されている。本講義では、原子の集合体としての観点から物質・材料を概観し、そのバラエティや原子配列を調べる技術を紹介する。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[16] マーケティングとブランディング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	産学連携推進機構 准教授 伊藤 慎一 (計3名)
授業概要	世の中には取引可能な財やサービスが数多くあり、私たちはこの中から選好して消費します。消費者が購買する理由を人為的に作り出すことがマーケティングとブランディングです。本授業ではその意味と具体例を学びます。		
授業方針	座学と実習で進行します。前半は、マーケティングとブランディングの理解に必要な知識習得として理論や学説学派、産業財産権等を概説し、後半はゲーミングの技法を用いて、教室内に仮想市場を構成し実際に流通を体験します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 地方創生センター1号館213会議室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 16名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「基礎マーケティング論」

准教授 伊藤 慎一、客員教授 北村 森、客員教授 酒井 俊之 (全6講共通)

<8月24日(土)9:30~11:00>

そもそもマーケティング学とは何を学ぶ学問なのかについて、その歴史的背景、意義、学説や学派、位置づけ等を概説する。これにより私たちの消費行動と商品選択がマーケティング活動とどう関係し合っているのかを理解する。

第2講: 「近代ブランディングと知的財産権」 <8月24日(土)11:10~12:40>

ブランドは消費者の選択に大きな影響を与える指標の一つである。企業はブランドを大切にし、顧客と共に成長する。消費者に新たな価値を届けるためには、適切な権利管理が重要である。ブランドの価値を知的財産の観点から概説する。

第3講: 「近代マーケティングがめざす価値の創造」 <8月24日(土)13:20~14:50>

マーケティングは近年めざましい進化を遂げており、消費者選好やブランディング戦略は既存の枠組みのとられない新時代に突入している。このような中近代マーケティングがめざす「価値の創造」とは何か、その意義について概説する。

第4講: 「ゲーミングの技法を用いたマーケティングシミュレーション1」 <8月25日(日)9:30~11:00>

近年マーケティング学では現実の市場シミュレーションを再現する手法として実験経済学をベースとし、人為的な取り決めで市場を作り出すゲーミングという研究が進められている。この意義と役割体験の手法を用いて取引とブランドについて説明する。

第5講: 「ゲーミフィケーションの技法を用いたマーケティングシミュレーション1」

<8月25日(日)11:10~12:40>

ゲーミングの技法を用いて教室内に仮想市場を形成し参加者全員でマーケティング・ブランディングを考える取引シミュレーションを行う。市場の変化や消費者の選考、ブランド戦略の重要性を説明する。

第6講: 「マーケティングとブランディング」 <8月25日(日)13:20~14:50>

ゲーミングシミュレーションの結果を総括して、マーケティングとブランディングについて再度議論の整理を行う。秋田におけるマーケティングや地方創生などについても論考し、市場の概念と意味を理解する。

その他	本授業は対話による市場合意形成やマーケットのダイナミズムを教室内でシミュレーションします。その際他の授業と比較し会話をおこなう場面が多くなります。新型コロナウイルス感染症対策については、講義時の政府指針に従って行います。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配布します		
参考文献	授業の中で紹介します		
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[17] ネットワーク技術とセキュリティ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報統括センター 准教授 横山 洋之 (計3名)
授業概要	秋田大学の情報教育環境とネットワークについて概説するとともに、情報セキュリティに関する状況について説明します。これらを通じ、今後の情報通信技術について考えていきます。		
授業方針	スライドにより講義を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-2843 (大学コンソーシアムあきた事務局) E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 5名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「秋田大学の情報教育環境」 准教授 横山 洋之 <u><7月20日(土)9:30~11:00></u> 秋田大学の情報教育環境がどのようなものか解説し、これを通して最新の情報ネットワーク技術を講義します。			
第2講: 「インターネットの基礎知識 DNS編」 技術長 正木 忠良 <u><7月20日(土)11:10~12:40></u> 普段、私たちがインターネットを利用する際に、あまり意識することのないDNSの役割について講義します。			
第3講: 「怪しいメールに気を付けよう~事例に学ぶ見分け方のコツ~」 准教授 片平 昌幸 <u><7月20日(土)13:20~14:50></u> 皆さんは、友人との連絡には電子メールをあまり使わないかもしれませんが、通販などの各種のネットワークサービスの連絡などではまだメールが主役です。インターネットには、ニセのメールを使って皆さんの個人情報をねらったりする悪い人たちがたくさんいます。そのようなニセメールにだまされないようにするための見分け方のコツについて、いろいろな事例を元に講義します。			
その他			
テキスト	資料を配布します。		
参考文献			
関連科目	情報		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[18] 高校数学から大学への数学へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 木村 寛 (計1名)
授業概要	「大学で学ぶ数学とはどのような数学なのだろう？」高校数学のその先にある、より専門的な数学に触れてみませんか。高校数学のより深い理解にも繋がります。高校生でもわかるように分かり易く解説します。		
授業方針	高校1年生からの受講が可能です。数学が得意・不得意に関わらず、数学に興味や関心を持っている人大歓迎です。また社会への数学の活用法に興味がある人も大歓迎です。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「大学数学の基礎（解析学・線形代数学）」

＜6月8日(土)9:30～11:00＞

新たな数学の世界の広がりを感じられると思います。n次元空間や、実数、ベクトルなど、一般の数学を学ぶうえで基本的となる概念を解説します。

第2講：「データサイエンス基礎（数理統計学）」

＜6月8日(土)11:10～12:40＞

数理統計学はデータサイエンスを学習する上で重要となる数学分野です。数理統計学の基本的な内容について解説します。

第3講：「応用数学（数理最適化・ゲーム理論）」

＜6月8日(土)13:20～14:50＞

最適な経路の求め方や、自分の利益を最大にする戦略の取り方などを考えるゲームの均衡解など、現実問題を解決する数学について解説します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[19] リスクで分かる判断と違いの心理 (医療・生活・科学技術・政策すべてに役立つリスクリテラシー)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 金澤 伸浩 (計1名)
授業概要	リスクを確率論的に考えると、何がどれくらい危ないかが整理でき、行動の判断や他人の価値観の理解につながります。リスクの特性やリスクに対する感覚の違いの元になる心理の特性についても学びます。		
授業方針	参加型で気づきを通して学んでいく授業です。グループワークを通してリスクの性質や使い方を楽しく学びます。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：24名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「リスクとは何か」

＜7月30日(火)13:20～14:50＞

様々な意味で使われるリスクという言葉を確認することで、危ないものに対する判断や他人の価値観が分かることを学んでいきます。科学技術や社会の今後を考える基礎にもなります。

第2講：「リスク認知のバイアス」

＜7月30日(火)15:00～16:30＞

リスクの大きさは直感的に捉えがちです。ヒューリスティクスなど心理学的要因により、リスクの受け止め方に違いが出てしまう現象を体感しながら学びます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[20] 3Dモデリングと3Dプリンタを学ぼう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 機械工学科 准教授 高橋 武彦 (計1名)
授業概要	機械の設計・生産では、3次元CADが使われます。本授業では、3次元CADのモデリングの基礎と、そのデータを3Dプリンタで使う方法を学びます。		
授業方針	パワーポイントとプリントを用いた説明と、一人1台のPCを使った3次元CADの体験により、授業を進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「3次元CADを知る」

＜8月1日(木)13:20~14:50＞

3次元CADで出来ること、そのデータの活用方法であるシミュレーション、CAMモデリングとNC加工、3次元図面、3Dプリント等について紹介します。

第2講：「スケッチをマスターしよう」

＜8月1日(木)15:00~16:30＞

3次元CADでモデリングは、直線、円、長丸、多角形などの作図要素を組み合わせることで3次元形状の基となるプロファイルを作成し、寸法拘束、幾何拘束により形を整えることから始まります。そのプロセスを体験します。

第3講：「パーツをデザインしよう」

＜8月2日(金)13:20~14:50＞

3次元CADでパーツをモデリングするための基本的な考え方を学びます。さらに、基本となるスケッチによる作図と押し出し、切り取りなどのフィチャを組み合わせることで複雑な形状もモデル化できることを体験します。

第4講：「3Dプリンターでつくとしたら？」

＜8月2日(金)15:00~16:30＞

3Dプリンターの仕組みや機能について講義し、実際に3Dプリントします。そして、樹脂を使って3DプリントするFDM型3Dプリンターで使う3Dデータに求められることも紹介します。

その他	
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配布します。
参考文献	なし
関連科目	物理, 数学

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[21] ドローンを作って飛ばそう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計5名)
授業概要	ドローンの組み立てを通じて、ドローンの飛行原理を理解するとともにドローンの可能性について学習する。		
授業方針	座学だけでなく、実際に組み立てたり競技を通じて使い方に慣れることで、ドローンを原理から実践的に学習する。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 24名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「ドローンの可能性」と「ドローンはこう動いている」 知能メカトロニクス学科 助教 長南 安紀、機械工学科 准教授 境 英一 <u><8月1日(木)13:20~14:50></u> ドローンを作り、飛ばす技術を持つことで広がる可能性を知る。 ドローンの構成と飛行原理を理解することで、ドローンの基本的知識を学ぶ。</p> <p>第2講: 「ドローンをつくってみよう」 情報工学科 准教授 寺田 裕樹 <u><8月1日(木)15:00~16:30></u> 自作用のドローンキットを組み立てることを通じて、第1講で学んだ内容を深める。</p> <p>第3講: 「ドローンを飛ばすために知っておくべきこと」 (生物資源科学部)アグリビジネス学科 准教授 永吉 武志 <u><8月2日(金)13:20~14:50></u> ドローンを現実に飛ばすために知っておくべき知識を理解する。</p> <p>第4講: 「ドローン競技会」 建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 <u><8月2日(金)15:00~16:30></u> 手作りしたドローンを使って、レースに参加して、タイムと撮影技術を競う。</p>			
その他	制服が汚れないようにエプロンなど。飛行時に髪の毛に絡むので帽子が必要。		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	特になし		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[22] データサイエンスによるマーケティング (まちづくりを題材に高校生の声を集めてみよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計2名)
授業概要	マーケティングにおける調査手法「商品企画七つ道具」を活用して、高校生が地域に求めるアイテムの探索を通じてアンケートを設計、実施、解析を実践します。		
授業方針	高校配布のパソコンChromeを活用して、Google Formsでアンケートを採取する方法とGoogle Spreadsheetで解析する方法を実践的に学びます。		
会場・教室	中通サテライト		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「まちづくりの意義と商品企画七つ道具を学習しよう」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 <u><7月21日(日)13:20~14:50></u> この授業で使用するマーケティング手法「商品企画七つ道具」を紹介します。</p> <p>第2講：「グループインタビューからアンケート作成」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 <u><7月21日(日)15:00~16:30></u> 高校生が地域に必要なと考えるアイテムを挙げてアンケートを作ります。</p> <p>第3講：「アンケートを解析してみよう」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 <u><7月28日(日)13:20~14:50></u> 表計算ソフトを用いてアンケートの簡単な解析法を学びます</p> <p>第4講：「提言のプレゼンテーション」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 <u><7月28日(日)15:00~16:30></u> 当日集まった関係者に結果をプレゼンしてアドバイスをもらいます。</p>			
その他	学校で配布されたパソコンがあれば持ち込んでください。		
テキスト	特になし		
参考文献	神田範明:神田教授の商品企画ゼミナール,日科技連,2013.		
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[23] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方針	令和5年度以前の内容を、若干アップデートしたものになります。昨年度及び一昨年度受講した方はご注意ください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「歴史あるミュージアム建築の魅力-伝統的な空間の改修と活用」			
<p><6月15日 (土) 13:20~14:50></p> <p>ルーブル美術館 (フランス, パリ), ウフィッツィ美術館 (イタリア, ミラノ), アムステルダム国立美術館 (オランダアムステルダム), シュテーデル美術館 (ドイツ, フランクフルト) を題材に, 建築の特徴と, 改修や増築の際の建築家の提案について解説します。</p>			
第2講: 「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索-ホワイトキューブを超えて」			
<p><6月15日 (土) 15:00~16:30></p> <p>単に白い箱 (ホワイトキューブといいます) をつくれば便利でよいのか? 光や風景との対話, あえて彫刻作品のようにした建築など, 作品と向き合うだけではない, 視覚体験や展示方法を模索した (させる) 建築を中心に, 解説を行います。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[24] プログラミング言語Python (初級)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)
授業概要	Pythonは人工知能の開発によく使われており、最近人気のコンピュータ言語です。この授業ではPythonの基礎を学び、身長と体重のデータからBMI値を計算するなど簡単なプログラムを作ります。これまでPythonでプログラミングをしたことがない方向けの講座です。		
授業方針	実習を交えながら授業を進めます。クロムブックなどパソコンをお持ちの方はご持参ください。端末がない場合は貸し出します。その場合でもGoogleアカウントのIDとパスワードがあると作成したプログラムを残しておくことができます。本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科・情報工学科選択科目「データサイエンスプログラミングA」の2回分（第1, 2回）の授業に相当します。本科目受講生は希望すれば、本科目を単位取得予約型授業に切り替え、残りの6回の授業（第3, 4回は「プログラミング言語Python（中級）」として実施します）を受講することで単位を取得することが可能になります。（※別途高校生科目等履修生としての手続きが必要となります）		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス GI 417教室		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム（平日9:00~17:00） 電話：0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「Google Colaboratoryを使ってみよう」 准教授 廣田 千明, 准教授 渡邊 貫治, 教授 松下 慎也, 教授 伊藤 大輔 <u><6月8日(土)13:20~14:50></u> Google Colaboratoryの使い方を学び、変数を用いた簡単なプログラムを作成します。</p> <p>第2講：「簡単な計算」 准教授 廣田 千明, 准教授 渡邊 貫治, 教授 松下 慎也, 教授 伊藤 大輔 <u><6月8日(土)15:00~16:30></u> プログラムによる四則計算のルールを学び、その応用として身長と体重のデータからBMI値の計算を行うプログラムを作成します。</p>			
その他	パソコンを持参できる方はご持参ください。Googleアカウントが必要です。		
テキスト	当日資料を配布します		
参考文献	「ゼロからやさしくはじめるPython入門」, クジラ飛行機機著, マイナビ出版		
関連科目	情報, 数学		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[25] プログラミング言語Python (中級)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)
授業概要	Pythonは人工知能の開発によく使われており、最近人気のコンピュータ言語です。この授業ではPythonで簡単なプログラムを作成することができる者を対象に、2次方程式の解の計算のような科学技術計算や条件分岐を使って所得税額を計算するプログラムなどを作成します。		
授業方針	実習を交えながら授業を進めます。クロムブックなどパソコンをお持ちの方はご持参ください。端末がない場合は貸し出します。その場合でもGoogleアカウントのIDとパスワードがあると作成したプログラムを残しておくことができます。本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科・情報工学科選択科目「データサイエンスプログラミングA」の2回分(第3, 4回)の授業に相当します。本科目受講生は希望すれば、本科目を単位取得予約型授業に切り替え、残りの6回の授業(第1, 2回は「プログラミング言語Python(初級)」)として実施します。中級のみを受講した者が単位修得を希望する場合には別途対応いたします)を受講することで単位を取得することが可能になります。 (※別途高校生科目等履修生としての手続きが必要となります)		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス GI 417教室		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
遠隔授業時連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: chiaki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「簡単な科学技術計算」			
准教授 廣田 千明, 准教授 渡邊 貫治, 教授 松下 慎也, 教授 伊藤 大輔 <u><6月15日(土)13:20~14:50></u> 指数関数や対数関数, 三角関数などの初等関数の計算法を学び, 簡単な科学技術計算を行うプログラミングを学びます。目標として2次方程式の解を計算するプログラムを作成します。			
第2講: 「条件分岐」			
准教授 廣田 千明, 准教授 渡邊 貫治, 教授 松下 慎也, 教授 伊藤 大輔 <u><6月15日(土)15:00~16:30></u> 条件によって処理が枝分かれすることを条件分岐といいます。Pythonでの条件分岐のプログラムを学び, 応用として所得税額を計算するプログラムを作成します。			
その他	パソコンを持参できる方はご持参ください。Googleアカウントが必要です。		
テキスト	当日資料を配布します		
参考文献	「ゼロからやさしくはじめるPython入門」, クジラ飛行機機著, マイナビ出版		
関連科目	情報, 数学		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[26] コンピュータ, 役に立ちます (プログラミング, インターネット, 音響, ロボット制御)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)
授業概要	私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的思考方や様々な技術の活用方法を学びます。		
授業方針	講義形式で授業を実施しますが、適宜、実演を交えて授業します。		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス 教室未定		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学・アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「プログラミングで課題解決」 准教授 廣田千明

<6月4日(火)17:30~19:00>

小学校でプログラミング学習が必修化され、小学生でも身近にある課題を解決するためにプログラムが活用する時代になりました。本講では、Scratchや教育用マイコンボードmicro:bitを利用し、プログラミングによって課題を解決した事例を紹介します。事例を参考にプログラミングの活用法について考えてみましょう。

第2講: 「バーチャルな世界を創る」 准教授 寺田 裕樹

<6月11日(火)17:30~19:00>

コンピュータを使って現実と同じような世界を体験します。

第3講: 「音の仕組み, 音を作る(創る)には」 准教授 渡邊 寛治

<6月18日(火)17:30~19:00>

音の物理的な側面, 感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です

第4講: 「タブレット端末を使ったロボット制御」 教授 松下慎也

<6月25日(火)17:30~19:00>

タブレット端末を使って「LEGO MINDSTORMS」と呼ばれるロボットの動きを制御します。

その他	特になし
テキスト	当日資料を配布します
参考文献	授業の中で紹介します
関連科目	情報, 数学

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[27] 植物を科学して役立てる！ (生物生産科学科で学ぶアグリサイエンス)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 准教授 阿部 誠 (計5名)
授業概要	生物生産科学科では、将来にわたって人類が安心して生活できるように、植物に関する様々な研究に取り組んでいます。基礎から応用、ミクロ（分子レベル）からマクロ（畑・田んぼレベル）まで多岐にわたる、生物生産科学科の研究を紹介します。		
授業方針	生物生産科学科教員によるオムニバス形式の授業です。生物や農業が好きな方はもちろん、食や理科全般に興味のある皆さんの受講も大歓迎です。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス A211		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「植物アグリサイエンスで変わる魅力ある農業」 教授 藤 晋一

<6月8日(土)11:10~12:40>

植物を科学することで、その機能を巧みに利用した高機能作物の生産や物質（モノ）づくりが実現してきています。ここでは、これからの農業を魅力あるものにする植物アグリサイエンスを紹介します。

第2講：「ミネラル栄養価の高い新しいイネ品種を作る！」 助教 増田 寛志

<6月8日(土)13:20~14:50>

鉄分が足りないと貧血になります。亜鉛も体を成長させたり、免疫力を高めるなど、とても大切なミネラルです。主食であるお米のミネラル栄養価を高めれば、健康の維持に大変有効と考えており、変異導入、交配、遺伝子組換えなど、様々な技術で栄養価の高いイネの作出に取り組んでいます。

第3講：「デンプンと糖の可能性ー酵素を利用した食品・工業への応用ー」 准教授 鈴木 龍一郎

<6月8日(土)15:00~16:30>

植物が光合成で作るデンプンは、人類の主食（コメ、コムギ、イモなど）の主成分であり、食料だけでなくバイオプラスチックなどにも利用できます。デンプンを代謝する酵素を調べてデンプンの設計図を作ることで、利用の道を模索しています。この講義では、デンプンと酵素の研究を紹介します。

第4講：「カメムシのにおいとフェロモンと農薬」 准教授 野下 浩二

<6月15日(土)11:10~12:40>

カメムシのにおいをご存じでしょうか？カメムシのにおいはフェロモンとして仲間とのコミュニケーションに使われたり、敵から身を守るために役立ちます。カメムシのにおいを深掘りしながら、害虫から作物を守るために利用されるフェロモンや農薬について考えてみましょう。

第5講：「ジュンサイから学ぶ食・農業・環境」 准教授 阿部 誠

<6月15日(土)13:20~14:50>

皆さんは秋田特産のジュンサイがどのような植物で、その栽培方法、食べ方や利用法について知っていますか？ジュンサイを通して、食・農業・環境について考えてみましょう。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[28] 生物環境科学への招待	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物環境科学科 教授 石川 祐一 (計4名)
授業概要	秋田の身近な地域から地球規模に広がる自然環境や生物資源の問題をフィールドに密着しながら発見し、生物資源の人間生活（農林業など）への活用と保全、自然環境の修復と再生などに取り組む生物環境科学を紹介します。		
授業方針	基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス A211		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講：「環境負荷を減らした農業は可能か？」 教授 佐藤 孝			
＜6月22日(土)9:30~11:00＞			
現代農業では化学肥料や化学農薬を多用しており、それらは環境負荷の要因にもなっています。本講義では、作物生産において植物や微生物の能力を生かして環境負荷を低減する方法について解説します。			
第2講：「COVID-19への各国の対策とその効果」 准教授 小西 智一			
＜6月22日(土)11:10~12:40＞			
各国政府はCOVID-19に対し様々な対策をとり、その結果も大きく異なった。これを俯瞰して今後の糧にする。			
第3講：「秋田で地域経済循環を考える」 准教授 中村 勝則			
＜6月22日(土)13:20~14:50＞			
地域経済循環とは何か、なぜ重要なのか。生物環境科学とどう関わるのかを解説します。その上で、身近な秋田を題材に、これから循環を取り戻していくためにはどんなことが必要なのか受講者と一緒に考えていきます。			
第4講：「森の営み：どうやって調べ、どんなことがわかるのか」 教授 星崎 和彦			
＜6月22日(土)15:00~16:30＞			
天然林では、木々の一本一本が毎年成長し、やがて花や実をつけ、いずれ死ぬという営みが、毎年繰り返されています。本講義では、そんな「木の一生」の調べ方を紹介し、その結果を現代の森林の環境問題に関連付けて考えます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[29] 高校生のためのアグリビジネス学入門 (秋田を救う新しい農と環境の世界)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 准教授 近藤 正 (計4名)
授業概要	アグリビジネス学は農と食、環境と社会の総合科学。バイオテク・ハイテクから持続共生・資源循環、地域・政策・社会まで。農を軸に有機的に科学し豊かな価値を産むアグリビジネスの魅力に迫り、人類の希望を手にする。		
授業方針	農業・農村の課題や魅力と可能性について、秋田から世界まで、具体的な事例や今日的な話題を多く用いながら、身近なことから専門的なことまで、わかりやすく紹介します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「農業の役割と支援のあり方 -秋田県大潟村における農家調査から-」 准教授 濱村 寿史
 <6月29日(土)9:30~11:00>

日本で最も農業経営の大規模化が進んでいる秋田県・大潟村における農家調査の結果を紹介しつつ、農業の役割や支援のあり方について考えます。農業・食料危機に直面する日本。この危機を国としていかに乗り越え国民の食・健康を守るか？ そのヒントが秋田にありました。

第2講：「畜産技術最前線」 助教 山中 麻帆
 <6月29日(土)11:10~12:40>

家畜生産では、アニマルウェルフェアや環境保全など様々な課題があり、その果たす役割はますます重要となっています。授業では、動物が生きていく上で不可欠な飼料の機能性等をその最前線の研究も交えて紹介します。

第3講：「共生・持続の流域農業水利・水環境保全」 准教授 近藤 正
 <6月29日(土)13:20~14:50>

秋田では八郎湖のアオコや雄物川のネオニコ系農薬水質汚染など農業原因の環境問題が深刻化しています。生態系を守りその力を借りて安全と持続の価値を生む「アグロエコロジー」の視点で豊かな秋田の未来を考えてみましょう。

第4講：「環境を組み入れた新しい農業の世界」 教授 岡田 直樹
 <6月29日(土)15:00~16:30>

農業には、豊かな社会を生み出す力があります。でも、環境にうまく調和できなければ、農業や農村は続かなくなります。ここでは、世界の新しい動きを追いながら、持続的な農業農村の姿を考えてみましょう。

その他	
テキスト	冊子にまとめ当日配布します
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[30] 基礎心理学を体験しよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 助教 村松 明穂 (計1名)
授業概要	心理学とは、ヒトとヒト以外の動物の「こころ」の働きと行動について、文理にまたがった視点から総合的に理解しようとする学問です。臨床心理学などの「応用心理学」の基盤である「基礎心理学」について、体験的に学んでみましょう。		
授業方針	心理学のなかに様々な分野があることを踏まえた上で、特に基礎心理学的な知識について、心理学を専攻する大学生が行うような実験等を通じ、体験的に学ぶ。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「心理学とは？」

<7月4日(木)17:30~19:00>

心理学にはどのような分野があるのか学ぶ

第2講：「錯視を体験する」

<7月11日(木)17:30~19:00>

知覚心理学の基礎知識について学ぶ

第3講：「記憶のメカニズムやデザインの仕組みを体験する」

<7月18日(木)17:30~19:00>

学習心理学や認知心理学の基礎知識について学ぶ

第4講：「ペットのしつけに使われている方法を体験する」

<7月25日(木)17:00~18:30>

行動分析学の基礎知識について学ぶ

その他	
テキスト	必要に応じてプリントなどを配布します
参考文献	授業内で紹介します
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[31] バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 准教授 志村 洋一郎 (計6名)
授業概要	高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになって行くのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。		
授業方針	授業はオムニバス形式で行います。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス E126		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「動物・植物・食品醸造の科学と腸内細菌叢（微生物）の科学」 准教授 志村 洋一郎

<7月6日(土)13:20~14:50>

本学科で取り組まれている様々な生命科学の概略を紹介します。

第2講：「共生微生物」 助教 竹下 和貴

<7月6日(土)15:00~16:30>

昆虫や植物に共生する微生物を中心に、共生微生物の重要性や凄さを紹介します。

第3講：「古くて新しい発酵のはなし」 准教授 伊藤 俊彦

<7月20日(土)13:20~14:50>

発酵の歴史と現代の発酵産業についてお話します。

第4講：「天然物化学(Natural Products Chemistry)の世界」 准教授 常盤野 哲生

<7月20日(土)15:00~16:30>

医薬品や農薬にも利用される天然有機化合物について概説します。

第5講：「ヒトの体は再生するのか？再生医療の現在地と未来」 助教 荒井 健一

<7月27日(土)13:20~14:50>

イモリは尻尾が切れても再生するのに、なぜヒトは再生しないのでしょうか？本講義では体の再生や、再生医療技術について紹介します。

第6講：「ホルモンを中心とした生体内の情報伝達について」 教授 穂坂 正博

<7月27日(土)15:00~16:30>

ホルモンについて概説し、『ペプチドホルモンの生合成と細胞内輸送について』の研究を紹介します。

その他	
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。
参考文献	授業の中で紹介します。
関連科目	生物、化学

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[32] おもしろ生物学 ここだけのはなし (～生き物の不思議を科学する～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 准教授 佐藤(永澤) 奈美子 (計3名)
授業概要	大学では机上の勉強だけでなく、研究を通じて新しい発見をすることができます。この授業では、教科書には詳しく書かれていない生物学のおもしろい話題について、県立大学教員の研究なども交えて紹介します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。生物学に興味がある生徒はもちろん、そうでもない生徒の受講も歓迎します。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス A211		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00～17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「細胞の中でおこる不思議な現象」 准教授 上田 健治 <u><7月7日(日) 9:30～11:10></u> 性染色体やオートファジーの役割について紹介します。			
第2講: 「生き物の形を作る遺伝子の話」 准教授 永澤 信洋 <u><7月7日(日) 11:10～12:40></u> 生き物、特に植物の形態(ボディプラン)を決める遺伝子がどのようにして発見されてきたか?主に花の発生について紹介します。			
第3講: 「いきものの進化のしくみ」 准教授 佐藤(永澤) 奈美子 <u><7月7日(日) 13:20～14:50></u> 進化のしくみについて、どんなことがわかってきているのか?現在進行中の研究を交えながら、お話ししたいと思います。			
その他	第3講終了後、希望者は学内見学可能です。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	国際教養大学
科目名 (サブタイトル)	[33] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 教授 奈良 寧 (計3名)
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかにかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。		
授業方針	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	国際教養大学 入試室 (平日9:00~17:00) 電話: 018-886-5931 (入試室直通) E-mail: admissionoffice@gl. ai. u. ac. jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「地上で小さなビッグバン(リトルバン)を作ろう」 教授 奈良 寧 (Yasushi NARA) ＜6月8日(土)11:10~12:40＞ 我々の宇宙は約138億年前に起こったビッグバンと呼ばれる大爆発からスタートしました。ビッグバン直後の温度は、数兆度に達したと考えられています。物質の極限状態は一体どのようなもののでしょうか?本講義では、物質の極限状態に関する最新の研究成果を紹介します。</p> <p>第2講: 「Taiwan Society Today」 助教 陳 宥樺 (Yu-Hua CHEN) ＜6月8日(土)13:20~14:50＞ This course provides a comprehensive examination of the historical transformations that Taiwan society has undergone in the last 400 years. It also introduces fundamental features of present-day Taiwan society.</p> <p>第3講: 「A Four Skills Exercise: Explaining a Cultural Tradition」 教授 パトリック・ドーティ (Patrick DOUGHERTY) ＜6月8日(土)15:00~16:30＞ This workshop will give the participants the opportunity to explore their own culture by completing a cultural inventory and then focus on one particular cultural point to prepare and make a short presentation in English.</p>			
その他	第1講は日本語で、第2講と第3講は英語で開講されます。		
テキスト	特になし。(講義により資料を配布する可能性あり。)		
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[34] 糸と布について	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 教授 長沢 桂一 (計1名)
授業概要	この授業では、繊維素材の特性について学ぶことから始まり、織表現の可能性について学ぶ。実際にさまざまな繊維素材に触れ、織の基本組織を理解し、一本の糸が、布へと変貌する織表現を習得する。		
授業方針	第1講は講義を通して繊維素材についての知識を深める。第2講では実際に織機を使い布を織る。		
会場・教室	秋田公立美術大学 織実習室2		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「繊維素材について」

<8月7日(水)13:20~14:50>

繊維素材の特性について学ぶことから始まり、織表現の可能性について学ぶ。

第2講：「織表現について」

<8月7日(水)15:00~16:30>

各自織機を使い布を制作する。

その他	筆記用具を持参してください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (※タイトル)	[35] 美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！ (大石膏像モチーフ：ニケ、アポロン、ヘルメス ジョルジョ、ベルベデーレ、奴隷)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 教授 皆川 嘉博 (計1名)
授業概要	美大の大石膏像を木炭デッサンをします。大石膏像から好きな1点を選び、イーゼルで囲み、デッサンします。全版サイズの大きい木炭紙に描きます。		
授業方針	木炭デッサンをしたことがなくても大丈夫です。木炭という画材に触れてみてください。		
会場・教室	秋田公立美術大学 アトリウム棟		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話：018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：6名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！①」 ＜7月13日(土)9:30～11:00＞ 美大の大石膏像を木炭デッサンをします。大石膏像をイーゼルで囲みデッサンします。全版の大きい木炭紙に描きます。			
第2講：「美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！②」 ＜7月13日(土)11:10～12:40＞			
第3講：「美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！③」 ＜7月13日(土)13:20～14:50＞			
第4講：「美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！④」 ＜7月20日(土)9:30～11:00＞ 美大の大石膏像を木炭デッサンをします。大石膏像をイーゼルで囲みデッサンします。全版の大きい木炭紙に描きます。			
第5講：「美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！⑤」 ＜7月20日(土)11:10～12:40＞			
第6講：「美大の大石膏像：ギリシャ神話の神々を木炭で描こう！！⑥」 ＜7月20日(土)13:20～14:50＞			
その他	デッサン用具持参(カッター、布、ガーゼ)。食パン一斤。木炭、木炭紙は用意します。汚れても良い服装。昼食を持参してください。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[36] グラフィックレコーディング演習	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 菅原 香織 (計2名)
授業概要	さまざまな話し合いの場で、文字や記号、イラストなどを用いて、リアルタイムに手描きで記録し可視化する「グラフィックレコーディング」の基本技術を習得します。		
授業方針	本授業は、第一線で活躍するプロフェッショナル（外部講師）と担当教員が連携して行います。また、秋田公立美術大学のグラフィックレコーディング演習の履修学生も実践の場として参加します。		
会場・教室	秋田市文化創造館 スタジオA		
会場住所	秋田県秋田市千秋明德町3-16		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課（平日8：30～17：15） 電話：018-888-8105 E-mail：kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「グラフィックレコーディングの基本」 准教授 菅原香織、 講師 平元美沙緒
 <7月13日(土)13:20～14:50>

「グラフィックレコーディングとは」
 「グラフィックパターンを使いこなそう！」
 「グループ対抗！絵しりとりゲーム」
 「やさしいペンの使い方レクチャー」
 「自己紹介シートを描いてみよう」

第2講：「模造紙にグラレコしてみよう」 准教授 菅原香織、 講師 平元美沙緒
 <7月13日(土)15:00～16:30>

「1人のスピーチをグラレコする」
 「2人の対話をグラレコする」
 「ふりかえりと共有」

その他	筆記用具を持参してください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[37] 地域資源デザインワークショップ (地域資源の気持ちになってデザインを考えよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 菅原 香織 (計1名)
授業概要	地域資源を生かしたデザインを考えるワークショップ形式の授業です。秋田杉のバスターミナルをケーススタディに、「地域資源クエスト」を用いたフィールドワーク、デザインワークを行います。		
授業方針	授業はチーム編成をして行います。積極的な態度を心がけてください。現地調査中は交通事故や体調不良・怪我に気をつけ、天候に応じた適切な服装で参加してください。		
会場・教室	美大サテライトセンター デッサンルーム ※第2講は会場周辺をフィールドワークします。		
会場住所	秋田市中通2丁目8番1号 フォンテAKITA 6階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：12名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「地域資源を生かしたデザイン 地域資源クエストとは（講義）」

＜8月1日(木)10:00～11:30＞

地域資源を生かしたデザイン事例紹介「秋田駅西口バスターミナル」「地域資源クエスト」の開発経緯と使い方
・本日の進め方説明

第2講：「地域資源フィールドワーク（現地調査）」

＜8月1日(木)12:10～13:40＞

【地域資源のみつめなおし（フィールドワーク）】
【地域資源のまなびなおし（ストーリー）】

第3講：「フィールドワークのまとめと共有 ディスカッションとワークショップ（演習）」

＜8月1日(木)13:50～15:20＞

【地域資源のおもいおこし（ディスカッション）】
【地域資源のみなおし（ワークショップ）】

第4講：「地域資源デザインワーク アイデア展開とふりかえり」

＜8月1日(木)15:30～17:00＞

【地域資源のつなぎなおし（アイデア）】
【地域資源のふりかえり（リフレクション）】

その他	筆記用具、昼食を持参してください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[38] ものづくりって何? (一秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻・染色の場合一)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 森 香織 (計1名)
授業概要	様々な素材を扱うものづくりデザイン専攻での学びとは?その特徴について、授業の様子や課題作品を紹介しながら解説します。第2・3講では場所を大学に移し、実際にものづくり(今回は藍染)を体験します。		
授業方針	第1講では様々な素材から生まれるものづくりの例を挙げて解説します。第2・3講では実際に素材に触れながらものづくり体験をしていきます。		
会場・教室	第1講:カレッジプラザ 小講義室1 第2・3講:秋田公立美術大学		
会場住所	第1講:秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階 第2・3講:秋田県秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話:018-888-8105 E-mail:kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数:12名】 先着順で募集を締め切ります

第1講:「ものづくりって何?」

<6月22日(土)15:00~16:30>

スライド・レクチャー

(ものづくりデザイン専攻の授業とはどのようなことをしているのでしょうか?実際の授業風景や課題制作、講評会等の画像を見ながら解説します。)

第2講:「布を絞る(絞り染)」

<6月29日(土)13:20~14:50>

布を自由に絞って模様を作ります。

第3講:「布を染める」

<6月29日(土)15:00~16:30>

藍を使って染色します。

その他	第2・3講は汚れても良い服装で来ること。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[39] 建築デザインを学び、 実際に見て歩こう (西洋の建築様式と秋田の近代建築を中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 助教 石渡 雄士 (計1名)
授業概要	西洋の古典様式（ギリシャ・ローマ）やゴシック様式の建築デザインは、県内の近代建築にも多く取り入れられました。授業では各様式の特徴を理解し、実際に歴史的建造物を訪れて確認し、その空間の魅力を探ります。		
授業方針	第1講は座学形式で基礎知識を学びます。第2講は秋田市内にある近代建築を実際に巡り、知識だけでなく建築空間を実体験することで理解を深めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課（平日8：30～17：15） 電話：018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「建築様式のデザインを学ぶ」

＜7月6日（土）13:20～14:50＞

パワーポイントのスライドを使って、図面や写真を見ながら西洋の歴史的建造物のデザインと日本の近代建築とのつながりを座学形式で学びます。

第2講：「近代建築を実際に訪れて学ぶ」

＜7月6日（土）15:00～16:30＞

秋田市内に残る近代建築（旧秋田銀行本店本館など）を訪れ、実際に目で確かめながら建築デザインの理解を深めます。

その他	筆記用具を持参してください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[40] 光の魔法！こんなにちがう！ 写真の撮り方	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 助教 草薨 裕 (計1名)
授業概要	写真による様々な表現方法を知る		
授業方針	広告や美術などの写真の事例を踏まえ、スマートフォンのカメラをはじめ大学の施設(スタジオ)や機材(一眼レフカメラ)を利用し写真撮影を行う。		
会場・教室	秋田公立美術大学 スタジオ		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：16名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「スマートフォンで撮る、写真の変化」

＜8月3日(土)13:20～14:50＞

広告や美術などの写真紹介、スマートフォンのカメラによる、記録写真や正確な形の撮影方法を知る。

第2講：「スタジオライティング実践、光による写真の変化」

＜8月3日(土)15:00～16:30＞

写真スタジオでプロ用のストロボなどの機材を使い、ライティングを実践する。

その他	参加者はカメラ付きスマートフォンを必ずご持参ください。また、当日撮影した一眼レフカメラのデータを持ち帰りたい方はSDカードもご持参ください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[41] 日商簿記3級に合格しよう。	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 教授 國井 法夫 (計1名)
授業概要	日本商工会議所主催簿記3級試験に合格するための基本的な知識を教えるとともに問題演習を行います。6回だけの授業では合格しませんので家庭での問題演習が大切になります。簿記の知識があるという意味では一生ものとなると思います。		
授業方針	優しく、丁寧に教えてまいります。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務部教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「簿記の基礎」

<6月7日(金)17:30~19:00>

資産・負債・資本・収益・費用と仕訳について

第2講：「諸取引の記帳その1」

<6月14日(金)17:30~19:00>

各勘定科目の説明と補助簿の記入方法

第3講：「諸取引の記帳その2」

<6月21日(金)17:30~19:00>

各勘定科目の説明と補助簿の記入方法

第4講：「諸取引の記帳その3」

<6月28日(金)17:30~19:00>

各勘定科目の説明と決算

第5講：「決算整理・試算表・精算表の作成について」

<7月5日(金)17:30~19:00>

決算時の諸表の作成方法

第6講：「決算整理・試算表・精算表・伝票の作成について」

<7月19日(金)17:30~19:00>

その他	計算機、鉛筆、消しゴム
テキスト	プリントを使用
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	〔42〕世界史と法学 (欧米の歴史から「憲法」を問う)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合政策学部 法律学科 教授 佐藤寛稔 (計1名)
授業概要	法学、政治学、社会学において、「憲法」の成り立ちや歴史的な経緯を知ることは必須です。この授業では、近代市民革命期から現代までの歴史をふまえつつ、国家権力のあるべき姿、人の共生について検討します。		
授業方針	法や政治のさまざまな側面を扱います。中でも、国の成り立ちとの関りが最も深い、「憲法」を思考の軸とします。時事的な話題も取り上げます。新聞やテレビのニュースをよく見ておいてください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務部教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：15名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「権利が欲しい、あの革命」

＜6月29日(土)11:10~12:40＞

フランス革命以前の中世ヨーロッパでは、国王、貴族、ギルド（職能団体）が力を持っていました。ルイ16世とマリー・アントワネットの処刑と人権宣言による、世界の変化を解説します。

第2講：「平等にしたいこの世界」

＜6月29日(土)13:20~14:50＞

世の中の「平等」が、本当の意味で平等といえるのかを、クイズ形式で問います。さらに、アメリカ独立宣言、奴隷制度、人種差別など歴史から、多様化が進む現代を見直しましょう。

その他	筆記用具等を持参
テキスト	プリントなど配布予定
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[43] 情報と刑法 (情報社会特有の犯罪を知る、考える)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合政策学部 法律学科 講師 海老澤 侑 (計1名)
授業概要	刑法は古今東西広く存在します。では、我が国の刑法は、情報社会の到来に、どういった対応を示してきたのか？我が国の刑罰法規が、情報社会にあわせてどう変化してきたのかを知って頂きたいと思います。		
授業方針	法学の中の刑法という学問分野を通じて、法律という「生き物」を体感してもらおう。転じて、学ぶということ、学問に係わるということの意味を知ってもらう。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務部教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「情報社会の到来による犯罪」

<7月27日(土)13:20~14:50>

情報社会に入ったことにより、これまでは想像もつかなかった犯罪類型を紹介するとともに、我が国の刑法はそれらに対してどのように対処していったのかを知る。

第2講：「SNSと犯罪」

<7月27日(土)15:00~16:30>

SNSの匿名性のおかげで、ついつい言い過ぎたようなことを平気で書いてしまう。じゃあ、これって犯罪？
例:Twitter(現X)上にて、Aは「アイドルBは、小学校教員のCと不倫している！」と事実と反することを書き込んだ。

第3講：「GPSと犯罪」

<8月3日(土)13:20~14:50>

GPS技術のおかげで、家族や友人、別れた恋人が今どこにいるのかが調べられるようになった。じゃあ、これって犯罪？

例:Dは、以前別れたEのことを忘れることができず、スマートフォンの位置情報機能や様々な位置情報共有アプリを使ってEの居場所を毎日チェックしていた。

第4講：「CGと犯罪」

<8月3日(土)15:00~16:30>

CG技術・AI技術のおかげで、簡単に漫画の二次創作や本物と見まごうばかりのCGイラストを作れるようになった。じゃあ、これって犯罪？

例:Fは、直接の被害者はいないから大丈夫だろうと思って、CGとAI技術で架空の児童ポルノを作成し、Gに売った。

その他	筆記用具。スライド、映像などを使って話を進める。
テキスト	各回プリントを配布する。
参考文献	授業時に紹介する。
関連科目	法学、情報、歴史、漫画

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[44] 日常生活に活かせる心理学 (心のケアを中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合政策学部 法律学科 講師 瀬戸 泰 (計1名)
授業概要	物のようには見ることはできず、捉えどころのないように感じる人の「心」。この講義では心理学における心の捉え方を学び、実際に「自分の心の状態を知る」こと、そして後半では「話の聴き方」や「心のケア」について学びます。(※R5年度に受講された方は、同様の内容になりますのでご注意ください)		
授業方針	資料を配布し、パワーポイントのスライドを用いて対面式の講義を行います。また、自分の心理状態に関する質問紙に回答したり、短時間ですが、話の聴き方に関するペアワークも行う予定です。「分かりやすく」をモットーに説明しますので、お気軽にご参加ください。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務部教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：48名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「心理学ってなんだろう・自分の心を見てみよう」

＜7月20日(土)13:20～14:50＞

心理学とはそもそもどういったものか、ということについて概要を学ぶとともに、特に臨床心理学（心のケアに関する心理学）に関する代表的な理論を取り上げ、質問紙に回答してみることで自分の心の状態を確認してみます。

第2講：「心理学で心をケアする」

＜7月20日(土)15:00～16:30＞

第1講で心の状態を確認したうえで、第2講では心のケアの概要について学びます。また、心のケアに関係した「話の聴き方」についても、ペアワークを通して体験してみます。

その他	持ち物は筆記用具のみで結構です。
テキスト	講義内容に関する資料を毎回配布します。
参考文献	—
関連科目	—

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[45] ジブリアニメの字幕翻訳と異文化理解	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合政策学部 国際学科 准教授 三浦 薫 (計1名)
授業概要	日本アニメの英語字幕、英語音声では元の日本語と驚くほどの違いがでる。文化が違うからだ。しかし近年オリジナルの日本語を活かす英訳も登場している。ジブリのトトロ、千と千尋、君たちはどう生きるかから検証する。		
授業方針	講師が一方向的に解説をするのではなく、受講者にも一緒に考えてもらう形式で行う。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 教務部教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「ジブリ映画の字幕翻訳で探る文化理解（1）」

＜6月6日(木)17:30～19:00＞

言語は文化であり、文化は英語である。新しい時代を繋ぐ英語の在り方

第2講：「ジブリ映画の字幕翻訳で探る文化理解（2）」

＜6月13日(木)17:30～19:00＞

言語は文化であり、文化は英語である。新しい時代を繋ぐ英語の在り方

その他	特になし
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (サブタイトル)	[46] 高校生のための看護学入門 (「生きる」を支える人になる)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 准教授 齋藤 貴子 (計3名)
授業概要	各専門領域の看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。		
授業方針	講義は下記の担当者が行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学・南部直気 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-2229 E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 210名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「Illness 病いに寄り添う慢性看護」 准教授 齋藤 貴子

<7月4日(木)17:30~19:00>

Illness 病いとDisease 疾患とは何が違うのでしょうか。病いを長く患うこと、病いを長く経験することが増えてきているなか、辛さを取り除くのではなく辛さに寄り添うことについて考えてみたいと思います。

第2講: 「高齢者を理解しよう」 講師 佐藤 美恵子

<7月6日(土)13:20~14:50>

高齢者の特徴を理解し、健康寿命の視点から高齢者の生活を支えるために必要な看護を学びます。

第3講: 「社会を「みる」看護の仕事」 講師 森田 誠子

<7月11日(木)17:30~19:00>

社会環境が健康に与える影響があることを知り、個人とコミュニティの健康をまもる看護職の仕事の理解を深めます。個人だけではなく、コミュニティや社会全体にもはたらきかける看護実践について学びましょう。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田栄養短期大学
科目名 (サブタイトル)	〔47〕食生活と健康 (ヨーグルトの乳酸菌と腸活、その食べ方)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	栄養学科 教授 池田 隆幸 (計2名)
授業概要	微生物の概要を理解すると共に、その微生物の一つ乳酸菌から作られる発酵乳、いわゆるヨーグルトの効用や腸内細菌、さらに現在話題の腸活について学びます。また、ヨーグルトを使った調理実習を行い、ヨーグルトの楽しみ方を学びます。		
授業方針	講義と調理実習を組み合わせる形式をとります。講義時間は90分、大学の講義と実習の二つを体験して下さい。なお、実験(第2講)および調理実習(第3、4講)の都合上、受講は上限を18人とさせていただきます。		
会場・教室	第1講：秋田栄養短期大学 短大351教場 第2講：秋田栄養短期大学 短大256生物学系実験室 第3講、第4講：秋田栄養短期大学 調理実習室		
会場住所	秋田市下北手桜守沢46-1		
欠席連絡先	秋田栄養短期大学(ノースアジア大学 教務課) (平日9:00~17:00) 電話：018-836-4328 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：18名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「身近な微生物」 教授 池田 隆幸 <u><6月8日(土)9:00~10:30></u> 地球上に住んでいる動物や植物、微生物といった全ての生物は、土、水、大気、太陽光といった環境の中で生きて、お互い関わり合いながら生きています。その中で、目には見えない微生物について、特に身近にどのような微生物がどのくらいいるかについてお話しします。			
第2講：「ヨーグルトの乳酸菌とその食べ方、ヨーグルト乳酸菌の観察(講義・実験)」 教授 池田 隆幸 <u><6月8日(土)10:40~12:10></u> いわゆる善玉菌と呼ばれる乳酸菌とその仲間について学び、乳酸菌から作られるヨーグルトはいつどのくらい食べた方が良いのか?また、ヨーグルトに入っている乳酸菌を顕微鏡で観察します。			
第3講：「腸内環境を整える食習慣(講義・実習)」 講師 田中 景子 <u><6月8日(土)13:00~14:30></u> 第2講と関連して、腸内環境をよくする食品や食べ方について学びましょう。			
第4講：「腸活メニューを作りましょう(実習)」 講師 田中 景子 <u><6月8日(土)14:40~16:10></u> 今までの講義から、ヨーグルトなどの発酵食品を使ったレシピをみんなで作りましょう。第6回ご当地タニタごはんコンテスト全国大会に出品した郷土料理アレンジレシピから1品再現(ティラミス)と副菜を実習します。			
その他	調理実習の都合上、受講は上限を18人とさせていただきます。第3講、第4講の調理実習受講時には「エプロン、三角巾(バンダナでも可)」をご持参下さい。お昼を挟みますので、各自お弁当をご持参下さい。JR秋田駅東口からスクールバスを利用できます。ご利用の際には、運行時間をHP (https://www.northasia.jp/bus/bus.html)でご確認下さい。また、バス停の場所については予めお問い合わせ下さい。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物、家庭科、保健科		

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[48] ようこそ保育の道へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科生活こども専攻 専任講師 藤田 洋子 (計2名)
授業概要	保育士、幼稚園教諭を目指す生活こども専攻で開講している授業の中から「保育原理」「幼児理解」「乳児保育」「保育指導法」に関連する授業を行います。		
授業方針	講義と演習を組み合わせ、高校生に分かりやすく授業を行います。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 CB02教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 事務局(平日9:00~17:00) 電話:018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数:30名】先着順で募集を締め切ります

第1講:「ようこそ保育の道へ」 専任講師 藤田 洋子

<7月27日(土)9:30~11:00>

「育つ」ってどういうこと?保育ってどういうもの?「子どもの育ち」について考えるとともに、保育に関わる仕事についての学びを深めます。

第2講:「こどもの遊び」 専任講師 石井 美和子

<7月27日(土)11:10~12:40>

こどもにとって「遊び」にはどんな意味があるのか。おもちゃを作って遊びを体験します。

その他	上履き、筆記用具を各自ご持参ください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	保育原理、幼児理解、乳児保育、保育指導法

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[49] 食品と栄養の基礎知識	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科健康栄養専攻 教授 高山 裕子 (計5名)
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、給食管理、栄養教育といった分野について、基礎的で簡単な実験や実習も取り入れながら解説。各講義で栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明する。		
授業方針	授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する知識を伝え、自分の食生活や栄養士の仕事に興味を持ってもらうことである。 資料は講義前にプリントとして配付する。筆記用具を持参してほしい。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 P201教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 事務局(平日9:00~17:00) 電話:018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「健康と栄養」 准教授 浅野 純平

<6月15日(土)13:20~14:50>

身体と栄養素について学び、実際に体組成計(体重計に筋肉量の測定機能がついた計器)を用いて自己の身体を把握し、栄養状態について考えます。また、スポーツ栄養学の基礎を学習します。

第2講：「食中毒の予防について」 教授 熊谷 昌則

<6月29日(土)13:20~14:50>

食事提供の場において、食中毒の予防は栄養士の責務です。食品の安全性について学びましょう。

第3講：「栄養指導を体験しよう」 講師 須磨 亜沙子

<7月6日(土)13:20~14:50>

栄養指導の場は、地域保健・産業保健・医療・学校教育・老人福祉施設等、様々あります。より健康でいられるための食行動を、対象者自らがとれるよう栄養指導することの定義や実技について学習します。

第4講：「給食を提供するという事」 講師 伊藤 雅子

<7月27日(土)13:20~14:50>

給食を提供する対象者によって栄養士の仕事は多岐にわたっています。安全でおいしい食事を提供する方法について学びましょう。(集団調理の機器見学含む)

第5講：「こどものための食と調理」 教授 高山 裕子

<7月27日(土)15:00~16:30>

健やかな成長・発達に欠かせない「食」について学びます。そして子ども(幼児)に適したおやつを実際に調理してみましょう。(調理実習のためにエプロン・三角巾持参すること)

その他	上履き、筆記用具 ※7月27日(土)エプロン、三角巾
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (サブタイトル)	[50] 人間関係形成のためのコミュニケーション入門 (介護福祉士とケアマネジャーの相談技術の活用)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 教授 井上 善行 (計1名)
授業概要	介護福祉士やケアマネジャーが相談支援を行う際の、相互通行のコミュニケーションのしくみとコミュニケーション技法の基本を学び、人間関係形成におけるコミュニケーションに活用できることを目的にします。		
授業方針	講義形式で随時質疑応答しながら授業を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-3000 E-mail: fujisawa@rcakita.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：36名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「コミュニケーションの特徴」

＜7月27日(土)13:20～14:50＞

コミュニケーションにおける自分と相手の相互作用と、コミュニケーション時の心の動きの基本を学びます。

第2講：「コミュニケーションの技法」

＜7月27日(土)15:00～16:30＞

より良い人間関係を形成するための、話の聴き方と話し方を学びます。とくに、ことばの力を最大限に発揮する話し方の技法を学びます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖園学園短期大学
科目名 (サブタイトル)	[51] 楽しく学べる保育科入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	保育科 教授 蛭田 一美 (計3名)
授業概要	聖園学園短期大学保育科で開講している保育関連科目を複数の教員がオムニバス方式で紹介し、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育科短大での学習活動に対する理解を深めます。		
授業方針	講義科目や演習科目を組み合わせながら、簡単な理論と実際の動きを融合させた授業の展開を図ります。子どもや保育・幼児教育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要としません。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	聖園学園短期大学 事務局 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-862-0337 E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：50名】 先着順で募集を締め切ります。

第1講：「心が動く表現活動」 教授 蛭田 一美

<6月4日(火)17:30~19:00>

保育における表現活動は歌やリズム遊び、絵、造形など様々な方法があります。これらは「心の動き」を相手に伝える手段でもあります。子どもたちが「面白い!」と思えることを一緒に体験してみませんか?

第2講：「音楽はリズム・ハーモニー」 准教授 東海林 美代子

<6月11日(火)17:30~19:00>

楽譜にはどんなことが書かれているでしょう。音楽の基礎的な内容をリズム遊びを中心に学びます。音楽遊びを一緒に楽しみましょう。

第3講：「身近な素材を使った手作りおもちゃ」 講師 佐々木 啓子

<6月18日(火)17:30~19:00>

子どもが身の回りにあるものに自ら関わっていくことには大きな意味があります。手作りおもちゃは、子どものその時々の成長に合わせて、物事を作り上げる楽しさや喜びを感じ、想像力を育むことができます。

その他	第3講 はさみ 第1講~第3講 筆記用具
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[52] レーザー加工機を用いたアクリル板加工	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生産機械技術科 講師 橋本 真寿 (計1名)
授業概要	卓上レーザー加工機によってアクリル板を加工します。2次元CADの操作・CAMソフトの操作を行い、描いた形状をカタチにします。		
授業方針	図面をデータ化し、最終的にカタチにします。目の前でモノが出来上がるまでを体験できます。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 209教室 (CAD室) 及び204教室 (工学実験室)		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 5名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「図形作成」

<7月29日(月)9:30~11:00>

CADソフトを使用し、形状のデータ作成を行います

第2講: 「形状データのプログラム化」

<7月29日(月)11:10~12:40>

CAMソフトにより加工データに変換します

第3講: 「アクリル板加工」

<7月29日(月)13:20~14:50>

加工データを用いてアクリル板を加工します

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[53] I o Tデバイスプログラミング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 准教授 松田晃太郎 (計1名)
授業概要	モノのインターネットであるI o Tのしくみを学び、通信プログラムの作成を通じて理解を深めます。I o Tデバイス間連携やクラウドサービスの活用方法についても紹介します。		
授業方針	実際にプログラムを作成し、IoTデバイスのしくみや通信方法について理解を深めます。言語不問でプログラミング経験があるのが望ましいです。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 4F 408実習室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります

第1講: 「モノのインターネット」

<7月23日(火)9:30~11:00>

インターネットのしくみを復習する。モノのインターネットであるIoTとIoTデバイスのしくみを学ぶ。

第2講: 「IoTデバイスのプログラミング」

<7月23日(火)11:10~12:40>

実習用IoTデバイスのプログラミング方法を学び、LEDやセンサーを制御してみる。

第3講: 「IoTデバイスによる通信①」

<7月23日(火)13:20~14:50>

IoTデバイスによる通信プログラムの作成方法を学び、スマートフォンでIoTデバイスを制御してみる。

第4講: 「IoTデバイスによる通信②」

<7月23日(火)15:00~16:30>

IoTデバイス間の通信方法を学び、実習室内の温度マップを作成してみる。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[54] 建築空間を模型で探る	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 講師 平和基 (計1名)
授業概要	建築物の表現には、図面やCG、模型など様々な方法があります。この講座は、ミース・ファン・デル・ローエの「ファンズワース邸」の建築模型を製作しながら、小さな家の工夫やその空間構成について考えてみましょう。		
授業方針	設計図から立体的な建築模型になるプロセスと楽しさを授業の中で感じ取ってください。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 221室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「建築物の表現方法を探る」

＜7月22日(月)9:30~11:00＞

- ・はじめに
- ・平面図から立面図へ
- ・CGによる表現と模型表現
- ・設計プロセスのなかの建築模型表現

第2講：「建築模型のつくりかた」

＜7月22日(月)11:10~12:40＞

- ・建築模型制作の道具と材料
- ・建築模型制作の手順

第3講：「建築模型の製作①」

＜7月22日(月)13:20~14:50＞

- ・ミース・ファン・デル・ローエの「ファンズワース邸」の建築模型を製作

第4講：「建築模型の製作②」

＜7月22日(月)15:00~16:30＞

- ・ミース・ファン・デル・ローエの「ファンズワース邸」の建築模型を製作 (細部の表現)
- ・「ファンズワース邸」の工夫
- ・まとめ

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	